

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 1 区分
 【発行日】平成22年4月8日 (2010.4.8)

【公開番号】特開2007-123015(P2007-123015A)
 【公開日】平成19年5月17日 (2007.5.17)
 【年通号数】公開・登録公報2007-018
 【出願番号】特願2005-312774(P2005-312774)
 【国際特許分類】

H 0 1 R 31/08 (2006.01)

H 0 1 R 9/22 (2006.01)

【F I】

H 0 1 R 31/08 Q

H 0 1 R 9/22

【手続補正書】
 【提出日】平成22年2月19日 (2010.2.19)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

柱状体の中心軸にピン挿入孔を設け、表面に長手方向に沿って単数又は複数の長溝を設けると共に該長溝の底部に前記ピン挿入孔に連通した端子挿入孔を設けた保持体と、前端に筒状接点を有し該筒状接点を前記ピン挿入孔の軸線と一致するようにして前記端子挿入孔に挿入する接続部を有すると共に後端に電線を接続した受端子と、前記ピン挿入孔に挿し込むことにより前記受端子の筒状接点に挿通し前記受端子同士を短絡する金属製のピン端子とから成ることを特徴とするジョイントコネクタ。

【請求項 2】

前記長溝は電線を収容するため断面略半円状としたことを特徴とする請求項 1 に記載のジョイントコネクタ。

【請求項 3】

前記長溝内に前記受端子を支持する突起を設けたことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載のジョイントコネクタ。

【請求項 4】

前記ピン端子は断面略四角形としたことを特徴とする請求項 1 ～ 3 の何れか 1 つの請求項に記載のジョイントコネクタ。

【請求項 5】

前記ピン端子に電気絶縁性を有する把持部を取り付けたことを特徴とする請求項 1 ～ 4 の何れか 1 つの請求項に記載のジョイントコネクタ。

【請求項 6】

前記受端子の前記電線への接続は圧着方式によることを特徴とする請求項 1 ～ 5 の何れか 1 つの請求項に記載のジョイントコネクタ。